

2022 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	飯田 隆夫
研究テーマ	相模国大山寺縁起と木太刀奉納習俗に関する発展的研究
研究概要	本研究は科研費「2019 年度若手研究」（3 年間）中の 2021 年研究に基づく。寛永 14 年真名本写本「大山寺縁起」は、徳川家第 3 代家光と春日局による祈禱寺院化と関係する。また、大山寺の木太刀奉納は文献上、初代市川団十郎の元禄 6 年『自記』が初見である。この「大山寺縁起」と木太刀奉納の習俗は、近世相模大山信仰の初期的な重要課題と捉え、この 2 つの研究を 2022 年度の立証課題として進める。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>研究課題 1（大山寺縁起）に関し、真名本縁起所蔵者の原本撮影を、内海景弓（2022 年 9 月）、平塚市立博物館（同年 11 月）、町田市勝楽寺（2023 年 2 月）の 3 所で行い、比較検討を進めた。本課題との発展的課題として、山形県鶴岡市立図書館及び正伝坊（御師）所蔵資料探索を進めた。</p> <p>研究課題 2（木太刀奉納）に関しては、現存木太刀の収集と比較検討作業は完了し、2 つの学会誌発表を行った。併せて長野県東御市柵津地区の奉納木太刀の実態と関連資料収集作業を進めた。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>単「近世期、相模大山の木太刀奉納と書物の描写」『千葉史学』81 号, pp54-63, 千葉史学会（2022 年 12 月, 査読有）</p> <p>単「相模大山木太刀奉納の起源—初代市川団十郎の元禄 6 年願文を介して—」『演劇学論集』紀要 76 号, 日本演劇学会（2023 年 3 月, 査読有, 2023 年 6 月掲載決定）</p> <p>単「神宮滋『大物忌神と鳥海山信仰』（書評）北国の歴史民俗考古研究誌『北方風土』（81）, pp123-125（2022 年 10 月, 査読無）</p> <p>〔発表〕</p> <p>単「近世期、相模大山の現存木太刀・金物太刀とその言説」千葉史学会近世史部会（2022 年 9 月 23 日オンラインリモート会議）</p>
3. 今後の課題	<p>研究課題 1（大山寺縁起）国立公文書所蔵「相州大山寺縁起」・内海景弓所蔵「大山寺縁起」・平塚市立博物館所蔵及び町田市勝楽寺所蔵「大山寺縁起」の 4 種類の真名本縁起の比較検討の上に 2023 年度に学会発表を進める。</p> <p>研究課題 2（木太刀奉納）東御市柵津地区の木太刀奉納の検討により、2023 年度に学会発表を進める。</p>